

第23回 ～未来このはな～二代目ラウンドテーブルを開催しました

開催日時：2019年02月14日(木) 19:00～20:30

開催場所：此花区民ホール 第1会議室

久しぶりに皆様へのお便りを綴っております「～未来このはな～ 二代目ラウンドテーブル」でございます。年末12月13日に行われました「第21回」、年明け10日開催の「第22回」の議事録をスキップしての今回「第23回」になります。実は年末年始は特別企画といたしまして、12月は第20回議事録でも紹介しました「此花・梅香に新しいコミュニティ拠点設立を目論む男」と此花観光協会会長とのビッグ対談、1月はちょっと肩の力を抜いて「関西・此花の風俗、食文化を語る」を実施いたしました。どちらも内容の濃いものでありましたが、余りに立ち入った話、込み入った話もございましたので議事録を割愛させていただくことにいたしました。決して年末年始の多忙や、寒さにめげて人が集まらなかった訳ではないと、声を大にして申し添えたいと思います。

さて、このラウンドテーブルは生活の中で「してみたいこと」をテーマに自由にアイデアや意見を出し合う場です。年齢や性別、肩書は一切関係なしに、此花をよりよくするために何か話そう。何か語ろう。という構想で行っています。参加のルールは簡単で、①お互いの話に乗かって盛り上げましょう、②異なるご意見も尊重しましょう、③多少の脱線も容認しましょう、となります。



季節も春めいてきましたので、これからは通常営業

です。今後も毎月第2木曜日に此花区民ホールにて定期開催する予定です。次回は、3月14日(木) 19:00より、区民ホール第1会議室にて開催予定です。参加は事前予約なしの自由参加です。お仕事の都合等での途中参加も歓迎いたします。お時間の許す方は、一度覗いてみてください。

今回は9名の皆様がお集まりくださいました。今回初めて、以前にご紹介しましたFBの公開グループ「此花区大好き♡」の管理人さんがお越しくださいました。今回は、皆様の近況報告の流れから「活動の場としての此花の魅力」との言葉を拾い上げ、皆で語り合うこととなりました。以下に皆様からのお話の一部を要約・抜粋いたします。

○まずは皆さまへの告知など。

「チラシをお持ちしましたが、梅香のお米屋のところに『おでん屋』がリニューアル・オープンしました。まだ探り探り営業しているとのことで、当面は休みなしで営業するようです。お勧めはトマトとシューマイですかね。そのうちに日曜日を定休日にするかもしれません。お暇でしたら皆様お越しください。」

「昨年に引き続き5月4日に『カラーズ』のダンスイベントを開催します。参加募集を2月末から3月にかけて始める予定ですので若いダンス好きがおられましたらお声がけをお願いいたします。ここ2年位ゴールデンウィークの同時期に別のダンスイベントが被るようになったようで、初年度は20組程度の参加がありましたが、今年度は15、6組と若干苦戦しました。参加は無料です。コンテスト形式で行いまして、優勝賞金は『¥20,000』、総額5、6万円の賞金をご用意しております。」

「コンテストの審査員には『ELECTRIC TROUBLE』『WRECKING CREW ORCHESTRA』で活躍されているBONさんをお招きする予定です。ちょっとコネがありましてその道では名の通った方をお呼びすることが出来ました。参加募集の際の動機付けの一つになればと思っています。」

○最近気づいたことなど・・・

「土日祝日の人がたくさん集まる所では大概『大道芸』をやっていますが、これは大阪が創った大道芸のライセンス認定制度の効果なんではなかね。」

「効果の程は分かりませんが、大阪の認定制度では大きなものが2つ。『大阪パフォーマーライセンス』と『海遊館・天保山マーケットプレイス』になります。海遊館・天保山は単独のライセンスで、認定された方はマーケットプレイス内で活動していいよ、となります。大阪パフォーマンスライセンスの方は、主な場所だと大阪城、ATC、天王寺公園などがあります。いずれも大勢の集客がある場所です。特に平日の大阪城は外国の観光客、特に中国の方ばかりです。」

「良し悪しですが、ライセンスを取りにいかなければならない手間はありますね。昔はフリーに道端で勝手にやっていた訳ですから。」

「大阪駅の周りはかなり規制が厳しいようです。以前にゲリラライブをやろうかと調べたところ、曾根崎警察あたりの許可を取らないと捕まってしまうそうです。路上ライブ排除の看板が至る所に設置されています。」

「此花区内の大道芸人さんは『登録上』お一人おられるようです。バルーンアートで結構有名な方だそうです。」

「此花区は今後万博やIRなどインフラの開発が進みますので、芸人さんにとって『先の明るい街』だと思います。多くの人が集まれば必然的に目に留まる機会、見てもらえるチャンスが広がるでしょう。IRで入ってきた外資のホテルや施設の目に留まり、お抱えになったり、そこからステップアップしたりして夢を掴むことに繋がれば、などと妄想が膨らみます。」

「『活動の場』を提供しているということでは、ホテル・ブレンドインの取組、例えばドイツから来たアーティストの方々が此花区内の場所で表現の展示を行うようなことがイメージに近いと思います。」

○『活動の場としての此花の魅力』とは・・・

ここから、話に上がりました『ホテル・ブレンドイン』のディレクターさんを中心に『活動の場としての此花の魅力』について語ることとなります。

「今年度ドイツから作家を招いていて、今ちょうど4組目なんですけど2月よりデュッセルドルフから新しく男女の写真家が来て活動しています。概ね此花を『活動の場所』として面白がってくれています。去年はホテルだけでなく、大きな工場跡地をアトリエ替わりに使って展示を行いました。西洋には無い建物を使って、作品だけではなく西洋では珍しい建物内部も見せることが出来ます。そのようなことを求めているところはあるようです。活用されていない建物の利用を含めて、此花は『ギャラリーではない所での展示』には理解があると思います。」



「此花に住んで10年位になりますが、私自身も活動の場所を探しているときに、空き物件の古い文化住宅がギャラリーとして面白いと思い『黒目画廊』を立ち上げました。そんな感じの人たちがチラホラいるようで、古いトタン葺きの建物でギャラリーを造る人や、ライブスペースを造る人がいたりして。海外のジェリーさんという方は『MIT HOUSE』で月一程度の頻度でダンスと音楽のイベントを開催していて、結構賑わっているようです。」

「商店街の中にある『PORT』の1階では定期的にトークイベントを行っていますし、ブレンド・アパートメントでは現在来日中のドイツの作家さんのキックオフイベントを行いますし、先程話のありました新しいおでん屋さんでもライブイベントをやられるそうで。それぞれがいろいろと活動されています。」

「銭湯の『千鳥温泉』でも定期的に音楽イベントを行っています。4月にはブルースで有名な『有山じゅんじ』さんのライブが企画されています。円広志さんが『ここでやるんか・・・』と

驚いていたそうです。」

「先日はホテル・ブレンドインにて Chara さんがトークイベントを開催しました。誕生50周年を記念して出版された妹さんとの共著の絵本の出版記念イベントになります。3月17日まで絵本とその世界観の展示をホテル内にて行っています。絵の展示だけではなく『家族』というものを考えさせる、結構グッとくるものがあります。大阪に縁のない Chara さんが此花を発表の地に選んでくれたことは嬉しいことです。」

○その他、此花の『熱い場所』は・・・

「表現の場所として『住吉神社』は特別ですね。中でも夏祭りの地車囃子は形もカッコいいし、組み方も年々進化しているでしょうし、太鼓も櫓も絵になっていると思います。それを演出できる神社は素晴らしいと思います。」

「神社の行事は『神事』ですからね。宮司さんや総代さんの理解があって今の形が出来上がっているものだと思います。」

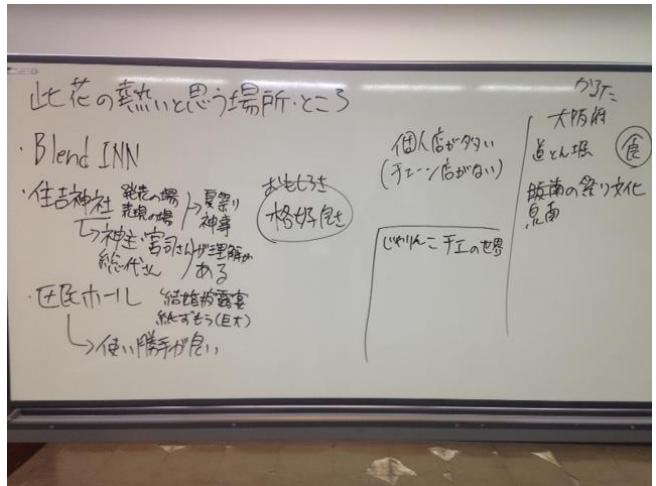
「関わっている皆さんの対応が『柔らかい』と感じます。私は住吉神社で結婚式を挙げさせてもらいました。随分永くやっていなかったので『無理だろうな』と思っていたら、結構アッサリと。もちろん間に入ってくださった方がいたからです。」

「昔は区民ホールでも披露宴をやっていましたね。神社で結婚式を挙げて、その後区民ホールでお祝いのパーティをやれば良いと思います。」

「10年位前になりますが、区民ホールで『巨大紙相撲』のイベントをやっていました。地元の人にタニマチになってもらって大会を開いていました。地域の方に声を掛けて再開できないでしょうかね。」

「区民ホールでスポーツをしたいという要望はありますが、専用の施設ではなく壁面が脆いため今のままでは難しいと思います。フットサルやバスケットボールは出来ませんが、ソフトバレーやバトミントン、卓球は可能です。ホールに卓球台は数台ありますし、卓球日本の活躍で巷が盛り上がっていますので卓球の企画は面白いかもしれません。」

「世間のブームに乗っかるなら、囲碁はダメですが将棋は盤と駒、それなりの数を備えておりますので可能です。『区長杯』など企画すると盛り上がると思います。」



このあと此花に『飲食業組合』があるのは他の区と比べても珍しいとの話から、街の飲食店のこと、商店街のことなど話が流れます。また、市内各地や大阪府内の東西南北の土地の魅力や特徴などに話が及びました。皆様の素の感覚や率直な思い、時には辛辣なご意見などあり楽しい時を共有する訳ですが、文字に書き起こすのは憚られる部分もありますので、割愛させていただきます。興味がある方は実際の会議にご足労ください。

さらに、最近ニュース報道にもありました「西成の中華街建設構想」が話題になります。新今宮駅前の「星野リゾート再開発」に合わせて、進出著しい中国系飲食店の経営者の方々が持ち上げた構想ですが、地元商店街には必ずしも歓迎されている訳ではないようです。大きな再開発に沿うように街の雰囲気が変わっていくことは珍しいことではありません。万博、IR と開発目白押しの此花も他人ごとではありません。今後の此花の行く末について語られます。

「此花の街の雰囲気も次第に変わってくると思います。西九条の阪神電車の高架下もいろんな店舗が入ってくるでしょうし、正蓮寺川公園も完成し道路も拡張されるといイメージが変わってくると思います。」
「住んでいる皆さんはどちらを望んでいるのでしょうか。今の様な下町の雰囲気のあるごちゃごちゃした感じがいいのか、もっと綺麗になって福島と比べても遜色のないようなイメージになって欲しいのかどちらでしょう。」

「私の中ではそんな感覚がありません。何故かというと、小中学生の頃に工事が始まって未だに続いている状況です。小中学生の時には『お洒落になって欲しいな』と思っていましたが、大人になっても昔の状態が続いている訳で、完成形が見えないわけです。」

「街が綺麗になることはいいことですが、それで面白さが失われることは残念だと感じます。私は阿倍野の生まれで新しい街の良さを知っていますし、新しいもののアンチではありませんが、私は『じゃりン子チエ』の空気感をもろに感じて生きてきたので、あれはやっぱり減ってしまったし、あれを求めて此花に来たところはありません。」

「リアルに『昔はよかった』ということはこの社会にそのまま残そうとすることは無理だと思います。それは夢事だと思います。皆に綺麗にしたいという意識がありますし、古くなったものの良さをそのまま再現しようとする人は誰もいないと思います。その中で自分は仕事の中で、再開発に負けなくらいの洒落た感じを表面に出しながら、内側に下町の風情を表現できればと思っています。」

「城東区の『がもよん』で『古民家再生プロジェクト』が進められており、業者が古民家を買ってリノベーションし、お洒落なカフェやイタリアン、和食の店などに街並みごと生まれ変わって賑わっています。お洒落に新しくすることは必要で、古くてボロボロなのは嫌ですし、古いものの風情を残しながら新しいお洒落なものに活かしていくことが受け入れられるのだと思います。」

「此花にもまだまだ面白いところはあるのに、私たちが気付いていないのかもしれませんが。何か新しい発見がありましたら、脱線覚悟でご紹介くださればと思います。」

途中、参加者の中から「此花区長の座を狙っている。どうやったら区長になれるのか」との話がありまして、まじめに「まず経歴の書類審査と論文の提出があるはず」と返され、「論文の書き方から勉強か・・・」と実現への道のりの険しさを実感されておられたようです。此花に魅力を感じている方が区長になれることはいいことだと思います。もしも制度が変わって区長さんが選挙で選ばれるようになったら、謹んで一票を差し上げたいと思います。

以上です。

次回は、3月14日(木) 19:00より、此花区民ホール第1会議室にて開催予定です。
皆様のご参加をお待ちしております。